基本方針			取組	実 施 時 期											R/年4月			
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期
子どものSOSに気づく力を高めます	子がもSO Sを出いで り ます	相談することの大切 さを子どもたちに伝 える授業を行います	困っていることを伝 えられる子ども	SCやSSWによる子どもへの相談日を設定 します。SCによる授業を2つの学年で実 施します。	相談日の設定 SCによる年2回の授業実施 新											新規	新規	
		教科担任制や同室複 数授業を進めます。	複数の教職員が子ど もの情報を共有し、 多角的に対応できる 職員組織	より多くの教職員が子どもに関わることが できるよう、高学年中心に教科担任制を実 施します。低学年では同室複数授業も行い ます。	教科 担任制 — 同室複数 授業 —			<b></b>	-							検証	拡充	拡充
	子どもを 深く理解 する力を 育てます	本事案から学ぶ全員 研修を実施します	外部講師を招聘し、 調査報告書から深く 子どもを理解する教 職員	市教育委員会指導主事を招聘するなどし て、学校調査報告書に基づいた研修会を実 施します。					実施								市教委と 検討	市教委と 検討
		係を築きます。	専門的な視野を持っ て子どもの特性を理 解し、子どもと丁寧	SCによる年2回以上のカウンセリングマインド研修を実施します。		実施								実施			継続	内容を検 証の上で 継続
		配慮を要する子ども への理解と適切な支援を強化します	に向き合いながら支 援する教職員	特別に配慮のいる児童についての情報共有 を積極的に行います。	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続	継続
	い早 いじ がな しいな しいないない がない がない かない かいない かいない かいます	いじめの定義の確認と周知を徹底します	いじめの定義を理解 し、子ども、保護 者、地域に啓発する 教職員	自他を大切にすることやいじめについて全 校集会等で話をするとともに、保護者や地 域の会でも話をしていきます。	始業式 入学式	児童朝会	学校運営協議会			PTA理事会		学校運営協議会	児童朝会		児童朝会	学校運営協議会	継続	継続
		いじめ防止月間を設けます	主体的にいじめ防止 活動に取り組む子ど も									実施計画を立てる	防止月間に実施				児童によ る提案を 定着させ る	児童によ る提案を 定着させ る
		いじめをテーマにし ぽったアンケートを 行います	いじめの有無や意識 を調査し、いじめの 未然防止、早期発見 解決を図る教職員	1学期は「こころとからだのアンケート」 と面談、2・3学期はいじめに特化したア ンケートと面談を実施します。			こころと からだの アンケー ト 面談				生活アン ケート(い じめアン ケート) 面談				生活アン ケート(い じめアン ケート) 面談		継続	継続
		教職員らがいじめに ついての情報を共有 し、チームで対応す る仕組みを整えます	校内いじめ防止委員 会を核とし、全教師 で情報や学校の対応 方針を共有し、取り 組む学校	校内いじめ防止委員会で初期対応するチームを設置します。 校内いじめ防止委員会を月1回の定例実施と事案検討として適宜実施します。	チーム設置 を内いじめ防止委員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	継続	継続
		いじめ等に関する情報について保護者との連絡を迅速に行い、情報を共有します。	保護者と迅速に連携 し未然防止、早期発 見、解決に向けた実 効性のある取り組み を目指す学校	校内いじめ防止委員会で迅速に事実関係を 把握し、対応方針の共通理解を図ります。		校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	校内いじ め防止委 員会	継続	継続

		基本方針		取組						実	施	時	期					
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期
子どもの主体性を育てます	子どもの 主体性を 育む授業 へ転換し ます	主体的・対話的で深 い学びの教育を進め ます	ながら、主体的に課	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内 授業研究を実施します。 日々の学習活動で合意形成を図る話し合い の場の充実を図ります。			授業研			授業研全校研究会	授業研	授業研全体研究会	授業研		授業研		継続	継続
	子どもが 参 一 校 で 行 い ます	子どもが主体的に行 う行事を実施しま す。	集団への一員である ことに対する自覚を 高め、人と人とのふ れあいやつながりを 大切にする子ども	児童会行事については児童が主体となって 実施します。その他の行事についても、児 竜会として参加できる場面や方法を検討し	1年生を 迎える会					te	運動会 <b>て割り掃除</b>		安倉小まつり		図工展	6年生を送る会	の企画・実 践・検証を	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる
			学校や地域の課題を 把握し、課題解決に 向けて思考する子ど も													$\overline{N}$		
		て、児童自らが考え 取り組みを進めま す。				創意工夫のある学級活動・委員会活動												
	子どもへ のメンン 進 を ます	CAPの活用と検証 を行います	自分の思いを言葉や 態度で適切に表現で きる子ども	3年生でCAPの授業を行い、自分の心と 体を守る予防教育を実施し、その成果と課 題をつかみます。				授業検証									継続	継続
		いじめ防止教育につ ながるゲストティー チャーの授業を行い ます		弁護士や警察官、大学教授など、人権に関 する講師による児童対象の出前授業を実施 します。							4年 5年 6年						継続	継続
チーム学校で取り組みます		教師が一人で抱え込 まない教師集団を作 ります		学年や専科の枠を超えて相談できる場や チームで対応できる体制の充実を図りま す。					討議					討議			継続	継続
		多職種連携を推進します	互いの専門性を信頼し、 連携できる学校組織	各担当、SC,SSWがそれぞれの専門性を活かし、各 ケースに対応したチーム会議を開催します。	コア会議 ケース会議											<b></b>	継続	継続
	子どもを 育む地係 関と 関と 関 き で 行 い は ま ま き 、 で り と う た う た う た う た う た う た う た う た う た う	地域ぐるみで子ども を見守ります	情報を発信し、家庭・ 地域に開かれた学校	学校運営協議会、青少年育成市民会議等で、学校の様子を 説明し、地域で子どもを育むことの協力を求めます。	見守り隊 <sup>-</sup> 各ボランティ ア活動		学校運営協議 会					学校運営協議 会				→ 学校運営協議 会	継続	継続
			に向けた教育の連携	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行い、いじめに対する学校の指導体制・指導 内容の充実を図ります。				連携会議					連携会議		中学校授 ・ 部見学 ・ 幼稚園と の交流 業	連携会議	継続	継続
		関係機関との連携を図ります	関係機関と情報を共有 し、迅速に対応できる 学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青 少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携												継続	継続
及 ぴハ ラス メン トを子 どもに対する 体 罰	体罰を根 絶します	体罰の禁止を徹底し ます		体罰・ハラスメントの根絶に向けた事例研 修を実施し、教職員の人権意識を高めま す。	研修			研修					研修				継続	継続
	あらゆる ハラスメ ントを根 絶します	あらゆるハラスメン トを根絶します			研修			研修					研修				継続	継続